

旧青葉小学校 跡活用サウンディング型市場調査 実施概要

○参加申込期間 令和7年1月20日(月)～令和7年2月21日(金)
○調査実施期間 令和7年1月27日(月)～令和7年3月13日(木)

		A社	B社	C社	D社
活用用途・事業内容		・屋外ソフトボール場 ・地域住民が利用できるサロン ・花や野菜が栽培できる貸農園	・コンビニ等の生活利便施設 ・高齢者施設(ケアハウス等) ・クリニック ・保育園 ・ファミリー層や学生向けの賃貸集合住宅 ・地域住民が利用できる交流拠点 ・多世代が交流できる広場	・宅地分譲や学生寮 ・多目的スペースを併設したコンビニ	・高齢者施設(デイケア、特養等) ・体育室(災害時は福祉避難所) ・地域包括支援センター、福祉のまち推進センター
土地・建物の活用方向性	旧青葉小学校	[屋外ソフトボール場] ・公式大会ができるソフトボール場を整備。 ・サッカーやお祭りなどのイベントにも使用。 ・災害時は避難場所としても利用。 [サロン] ・住民の健康増進活動の催し等に使う憩いの場として提供。 ・ソフトボール場や貸農園の管理機能も担う。 ・災害時に必要な食料、飲料水、毛布等を備蓄。 [貸農園] ・地元住民が運営管理を担う。	[コンビニ・ランドリー・床屋等] ・日常的な生活利便施設を整備。 ・駐車場はある程度を確保する想定。 [高齢者施設] ・新札幌駅周辺の病院と提携したケアハウス等を想定。 [予防医療、検査クリニック] ・健康増進、予防医療を身近なものとするために整備。 ・周辺の病院とは差別化を図り、地域に密着したもの。 [保育園] ・子育て世代の需要に対応。 [学生寮] ・近隣の大学に通う学生、専門学校生向けに整備。 [賃貸アパート] ・若年ファミリー層向けに整備。 [交流センター兼カフェ] ・地域住民の交流拠点となるように整備。 [多世代交流広場(中庭)] ・地域住民が利用する多世代交流拠点とし、敷地西側にある青葉中央公園との「みどりの連動」を意識して配置。	[宅地分譲] ・若年層の誘導促進のため、宅地分譲を行う。 [賃貸アパート] ・近隣学校の学生の入居を見据えた賃貸アパートを整備。 [多目的スペースを併設したコンビニ] ・コンビニの2階に地域住民が利用できる多目的スペースを整備。 ・多目的スペースは平常時はイートインスペースとして利用。	[高齢者施設(デイケア、特養等)] ・1階: デイサービス・デイケア・事務所 ・2～6階: 老健、特養・ケアハウス ・7階: 法人の事務所 [オープンカフェ] ・自習室や子ども食堂、認知症カフェ等として利用。 [体育室] ・通常時は地域の方に無料又は低額で貸出。 ・災害時は介護が必要な方向けの福祉避難所として利用。 [地域包括支援センター、福祉のまち推進センター、集会所] ・地域の団体が参集した高齢者向けの相談窓口の開設。 [駐車場] ・旧グラウンドを職員用・来客用駐車場として、約70～80台分を整備。
	青葉児童会館	・現時点では活用案なし。地域の意見を聞きながら利活用を検討。	・メディカルビルまたは住居系(宅地分譲、賃貸アパート等) ・建物を利活用し、半分をカフェなどの店舗、半分を地域が使えるコモンスペースにするアイデアも考えられる。	・既存建物は解体し、利活用を検討。	[高齢者施設の職員寮] ・既存建物は解体し、特定技能職員の住まいを確保。
地域との関わり方		・サロンを地域住民のコミュニケーションの場となるよう通年開放する。 ・冬季は高齢者が自宅に引きこもりがちのため、ソフトボール場を利用したイベント等で開放する。	・多世代交流広場等を活用したイベントの企画等をする。	・地域のニーズに応えつつ、持続可能な施設が整備できるように実効性のある計画を検討する。	・オープンカフェや集会場で子ども食堂や認知症カフェ等、多世代と交流する催しの企画・開催を検討する。 ・看護学科の学生等のボランティア活動を受け入れ、福祉の体験実習とともに地域交流のきっかけとしたい。 ・施設の送迎バスを活用して、高齢者の買い物支援サービスを検討する。
地域との意見交換		(地域からの意見) ・冬場はグラウンドが半年間使えない状態になるため、どのような活用方法があるのか提案して欲しい。 ・グラウンド利用時の周囲への音の影響が気になる。	(事業者からの意見) ・交流の場として専用の施設を建てることは困難である。 ・交流の場は誰が所有・管理運営・修繕するのかについても課題である。 ・交流センターを持続的に運営するために、地域と連携することを視野に入れた検討が必要。 (地域からの意見) ・病院とは差別化を図ったクリニックの誘致は良い。 ・冬場でもスポーツ等の地域活動ができる屋内の場所が欲しい。	・意見交換会は実施せず。	(地域からの意見) ・高齢化が進む地域に高齢者施設を建設することが、地域のためになるのか分からない。 ・地域の団体が参集した高齢者向けの相談窓口は、ワンストップ窓口となり得るので良い。 ・若い世代が流入するようにハード面だけでなく、ソフト面の取組についても検討して欲しい。